

胃・大腸がん検診(後期募集)

胃・大腸がん検診を同日に行うことができる検診です。胃がん検診は、バリウムを飲みエックス線撮影を行います。大腸がん検診は、便潜血反応検査を行います(採便容器に2日分の便を採取し、提出していただきます)。市に住民登録のある40歳以上(昭和56年3月31日以前生まれ)の方。申込み多数の場合抽選日11月12日(木)・16日(月)・27日(金)、12月7日(月)・10日(木)・14日(月)いずれも午前のみ胃がん検診1,000円・大腸がん検診500円(健康センター)

申請9月1日から11日(当日消印有効)までに、はがき(記入例参照)、電子申請、または直接健康推進課窓口へ健康推進課健康推進係☎042-497-2075 ※申込結果は10月上旬郵送予定。※50歳以上(昭和46年3月31日以前生まれ)の方は無料。また、生活保護世帯、中国残留邦人等支援給付対象者は生活福祉課で発行する証明書を、住民税非課税世帯の方は健康推進課で発行する「がん検診自己負担金無料券」を提出すれば無料。

はがき記入例(普通はがきでお申込みください)

63 〒204-8511 清瀬市健康福祉部健康推進課 胃・大腸がん検診申込担当 行

胃・大腸がん検診申込み ①住所 ②氏名(ふりがな) ③電話番号 ④生年月日 ⑤希望する検診の種類(胃がん検診のみ、大腸がん検診のみ、胃・大腸がん検診両方) ⑥希望する検診日(第3希望日まで)



詳しくはこちら

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため可能な限り、電子申請かはがきにてお申込みください。電話での申込みはできません。

新型コロナウイルス感染症の影響により、市報5月1日号で延期をお知らせしていた胃・大腸がん検診(前期募集)は中止いたしました。なお、中止した前期募集分の実施日は、中期募集及び今回の後期募集の実施日に組み込むこととし、年間の実施日数は変わりません。

COLUMN 胃がん・大腸がん検診を受けに行こう!



複十字病院 副院長(消化器外科) 生形之男氏

日本では1年間に約100万人の方が、がんと診断され、約38万人の方が、がんで亡くなっています。がんの罹患率の第1位が大腸がんで第2位が胃がんです。それに関わらず東京の胃がん、大腸がんの検診受診率は40%程度にすぎません。

よく、「うちの家系にはがんはいないから大丈夫」という方がいますが、家族

性のあるがんは大腸がんでは30%、胃がんでは10%程度です。

どんながんでも、自覚症状が出た時は進行していることが多く、早期発見が重要です。

例えば、大腸がんの初期のステージ1であれば5年生存率97%ですが、ステージ4では20%まで悪化します。同じ大腸がんでも、発見時期でこれほど生存率が

変わってきます。また、進行すればするほど、抗がん剤治療など経済的負担も大きくなります。

日本人の2人に1人が、がんになると言われています。がんにならない完全な予防法は現時点ではありません。早期発見すれば、がんは完治できる時代です。毎年、検診をきちんと受けて早期発見、早期治療に努めてください。

乳がん・子宮がん検診(後期募集)

◆乳がん検診(後期)

市に住民登録のある40歳以上の女性(昭和56年3月31日以前生まれ)で、昨年度市の乳がん検診を受けていない方(検診は2年に1度)。先着700人 【検診期間】10月1日(木)~令和3年1月30日(土) 織本病院(旭が丘一丁目)・複十字病院(松山三丁目)・武蔵野総合クリニック(元町一丁目) 費2,000円 ※令和2年4月20日時点で40歳(昭和54年4月2日~昭和55年4月1日生まれ)の方には、6月にクーポン券が個人通知済みですので、申込みの必要はありません。 ※クーポン対象の方で、令和2年4月21日以降に転入された方は、お問い合わせください。

◆子宮がん検診(後期)

市に住民登録のある20歳以上の女性(平成13年3月31日以前生まれ)で、昨年度市の子宮がん検診を受けていない方(検診は2年に1度)。先着600人 【検診期間】10月1日(木)~令和3年1月30日(土) 公立昭和病院(小平市花小金井八丁目)・宇都宮レディースクリニック(元町一丁目) 費頸がん検診1,000円、体がん検診(条件あり)1,000円 申請乳がん検診・子宮がん検診いずれも9月1日~9月11日に、電子申請・はがき(記入例参照)、または直接健康推進課窓口へ健康推進課健康推進係☎042-497-2075

※いずれの検診も、令和2年度より検診期間を「前期」「後期」に分けています。「前期」に申込みされた方で9月末までに受診できない方は、「後期」で再申込みが必要となります。

※いずれの検診も、50歳以上の方(昭和46年3月31日以前生まれ)は無料です。また、世帯全員が住民税非課税の方、生活保護世帯、中国残留邦人等支援給付対象者は、その証明書を提出すれば費用負担はありません。世帯全員が住民税非課税の方は、健康推進課へ申請していただければ、「がん検診自己負担金無料券」を発行します。

はがき記入例(普通はがきでお申込みください)

乳がん・子宮がん検診申込み

- 1. 住所 2. 氏名(ふりがな) 3. 生年月日 4. 電話番号 5. 希望する検診・医療機関を下記からお選びいただき、ご記入ください。 【乳がん検診】 1. 織本病院 2. 複十字病院 3. 武蔵野総合クリニック 【子宮がん検診】 1. 公立昭和病院 2. 宇都宮レディースクリニック

はがきのあて先には、「〒204-8511 清瀬市健康福祉部健康推進課 行」とご記入ください。(当日消印有効)



乳がん検診について詳しくはこちら(市ホームページ)



子宮がん検診について詳しくはこちら(市ホームページ)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、可能な限り電子申請かはがきにてお申込みください。電話での申込みはできません。

清瀬市公式 Instagram × 市制施行50周年記念企画

「#清瀬コレクション」をつけて、清瀬の良いところ、知ってほしいことを Instagram に投稿しよう!!



詳しくはこちら(市ホームページ)

市制施行50周年を記念し、清瀬市公式Instagram(インスタグラム)では、皆さんからの投稿を募集しています。清瀬の良いところ、もっと知ってほしいことなどをどんどん投稿し、清瀬の「素敵」をコレクションしていきましょう! 投稿された写真は、市ホームペ

ージで紹介する予定です。【投稿方法】写真に「#清瀬コレクション」と「@city_kiyose」をつけて投稿してください。秘書広報課広報聴係☎042-497-1808 ※写真の投稿などにはルールがあります。運用ポリシーは、市ホームページを参照してください。

「清瀬応援チケット」を配布します

市では、新型コロナウイルス感染症の影響で売上が減少している市内の中小・小規模事業者や子育て世帯を応援するため、18歳以下の子どもがいる世帯の世帯主宛に、子ども1人につき5,000円分(500円券×10枚)の市内の事業所で利用できる「清瀬応援チケット」(食事・商品共通券)を配布します。利用できる店舗はチケット同封の一覧及び市ホームページからご確

認ください。18歳以下の清瀬市民で、次の条件を満たしている方。(1)令和2年4月27日時点で18歳以下(平成13年4月28日以降、令和2年4月27日までに生まれた方)。(2)令和2年4月27日時点で清瀬市の住民基本台帳に登録されていること。【入手方法】対象世帯の世帯主宛に9月6日から順次、簡易書留で郵送(申請は不要) 産業振興課産業振興係☎042-497-2052